

2023年4月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【2月募集】入学試験問題

講座（学修分野）	国際比較経済、経済理論・統計、政策科学、経営学、（グローバル経営・経済）
専門科目	ミクロ経済学

以下の問1、問2の両方に解答しなさい。なお、問1は解答用紙の第1ページと第2ページに解答し、問2は解答用紙の第3ページと第4ページに解答しなさい。途中計算も書くこと。

問1 x 財を生産する企業の総費用関数が以下で表されるとする。

$$c(x) = \left(\frac{1}{3}\right)x^3 - x^2 + 6x + 12$$

- (1) 限界費用関数と平均可変費用関数を求めた上で、それぞれ図示しなさい。
- (2) 企業の供給関数を求めた上で、図示しなさい。

問2 生産関数を $y = 2x$ とする企業が生産物の市場で供給独占力、生産要素市場で需要独占力をもつとする。生産物市場での需要曲線を $p = 10 - y$ 、生産要素市場での供給曲線を $w = 0.5x + 2$ とする。 y :生産物、 x :生産要素、 p :生産物の価格、 w :生産要素の価格である。

- (1) 限界収入関数、限界費用関数を求めなさい。また、縦軸を生産要素の価格、横軸を生産要素とし、限界収入関数、限界費用関数、生産要素の供給関数をそれぞれ図示しなさい。
- (2) 企業が利潤最大化したときの要素需要量、要素価格、利潤をそれぞれ求めなさい。

以上